

『北海道民族学』執筆要領

(2016/12/01 改正)

1. 形式

投稿原稿は日本語とする。日本語を母語としない者が投稿する場合は、日本語校閲を経ていること。
用紙設定はB5判、ヨコ書き、明朝10ポイント、40字×40行、マージン上下左右各20mm。

2. 原稿の構成

論文：表紙、本文、注、引用文献、図表・写真一覧

研究ノート：表紙、本文、注、引用文献、図表・写真一覧

書評・紹介：編・著者名、書名、副題、出版地、出版社、刊行年、総頁数、定価、著者名（所属）、本文、注、引用文献、本の表紙写真

参加報告・現地報告・その他：題名、著者名（所属）、シンポジウム・研究会・講演会・現地視察などの開催日、開催場所、主催・後援、本文、図表・写真一覧

研究会発表要旨：研究会名、発表題目、著者名（所属）、本文

3. 表紙

論文、研究ノートの原稿には表紙をつける。表紙には論文、研究ノート等の種別、日本語タイトル、英語タイトル、日本語要旨、キーワード、日本語著者名、英語著者名、所属、住所、電話番号、E-mailアドレス等を必ず記入すること。

4. タイトル

タイトルに副題を付ける場合は、「主題 一副題」のように、主題の次に全角スペースをあけ、全角ハイフンにて副題をはさんで表記する。英語タイトルでは、主題に続けて改行して副題を添える。

5. 日本語要旨

論文、研究ノートの原稿には、日本語要旨をつける。要旨は600字以内とする。

6. キーワード

論文、研究ノートの原稿には、キーワードをつける。キーワードは5語以内とする。

7. 本文

7-1. 章立て

章立ては1.、2.、3. …、節立ては1-1.、1-2.、1-3. …とする。数字は半角で、数字の後に.（全角）を付ける。.(全角)の後にはスペースをあけず、章・節のタイトルをゴシック10ポイントで記載のこと。

7-2. 句読点

本文、注、図表・写真キャプションで用いる句読点は、「、。」とする。ただし、英数字で表記する箇所に關しては、句読点を「, .」(いずれも半角)とする。

7-3. ローマ字以外の外国語

原則としてローマ字表記で記載する。

7-4. 文献引用

本文中で文献に言及する場合は、カッコ書きで(著者姓(半角スペース)刊行年:頁数-頁数)のように示す。

7-5. 数字、ローマ字、記号・符号

数字は原則として算用数字、半角を用い、記号や符号は慣用にしたがう。英数字フォントはTimes New Roman 10ポイントとする。

7-6. 図・表・写真

執筆者自身がワープロやパソコンで作成したものを、そのまま使用する。印刷時の視認性に十分配慮し、不鮮明な写真や小さすぎる文字の使用は避けること。キャプションは、図・写真の場合は下、表の場合は上につける。写真は必要最小限に留め、必要なトリミングや加工を済ませて、画像ファイルの形式(JPEG等)にすること。これらの図表・写真は、挿入位置を本文原稿の右端に明示する等の方法により、挿入位置が明確になる

ように工夫する。原稿の最後に、図表・写真一覧として、図表・写真の番号、キャプションをまとめること。

7-7. 注

9ポイントで文章末の後注とする。本文中の注見だしに^{1,2,...}と、上付きの算用数字で通し番号を付ける（ワープロでの「文末脚注」等の指定はしないこと）。

8. 引用文献

引用文献リストは9ポイントで、論文末に一括作成し、配列は著者名のアルファベット順か五十音順とする。記載は以下にならう：

◆和文の雑誌論文

著者氏名（改行）、発行年、「論文名」、『誌名』、巻（号）：頁数 の順とする。

例)

中田 篤

2009 「春営地におけるツァータンのトナカイ放牧について」『北海道民族学』5:1-14.

平田 昌弘、板垣 希美、内田 健治、花田 正明、河合 正人

2013 「古・中期インド・アールリア文献「Veda文献」「Pāli聖典」に基づいた南アジアの古代乳製品の再現と
同定」『日本畜産学会報』84(2): 175-190.

◆外国の雑誌論文

著者氏名（改行）、発行年、論文名、誌名、巻（号）：頁数 の順とする。論文タイトルの最初の単語のみ大文字で始める。雑誌名はイタリック、雑誌名の後に、は打たない。

例)

Evershed, R. P., S. Payne, A. G. Sherratt, M. S. Copley, J. Coolidge and M. M. Burton,

2008 Earliest date for milk use in the Near East and southeastern Europe linked to cattle herding. *Nature* 455: 528-1481.

◆和文の単行本

著者氏名（改行）、発行年、『書名』、出版社、出版地 の順とする。

例)

中尾 佐助

1972 『料理の起源』日本放送出版協会、東京。

◆和文の単行本の一章を引用

著者氏名（改行）、発行年、「章のタイトル」、編著者氏名、『書名』、出版社、出版地、頁数 の順とする。

例)

西秋 良宏

2008 「西アジアにおける動物の家畜化とその発展」西秋良宏編『遺丘と女神—メソポタミア原始農村の黎明』東京大学出版会、東京、80-93頁。

◆外国の単行本

著者氏名（改行）、発行年、書名、出版社、出版地 の順とする。

例)

Ryder, M. L.

1983 *Sheep & Man*, Gerald Duckworth & Co. Ltd., London.

◆外国の単行本の一章を引用

著者氏名（改行）、発行年、章のタイトル、編著者氏名、書名、出版社、出版地、頁数 の順とする。書名タイトルに用いられている全ての単語について、各単語を大文字で始める。書名はイタリックとする。

例)

Efstratiou, N.

1999 Pastoralism in highland Rhodope' Archaeological implications from recent observations. In L. Bartosiewicz and H. J. Greenfield (eds.), *Recent Perspectives from Archaeology History and Ethnology*, Archaeolingua Alapítvány, Budapest, pp. 145-158.